

大自在

港町には独特の用語が少なくな
い。遠洋マグロ船の漁労長は「船
頭」と呼ばれる。漁獲の全責任を
負う。船長より格上で、航海中は
全乗組員のトップとなる。時に所

属する漁業会社の命運さえ握る。当時28歳
の見崎吉男さんは、焼津市の遠洋マグロ船
・第五福竜丸の「船頭」だった▼1954
年3月1日、太平洋ビキニ環礁で米国の水
爆実験に巻き込まれ、放射能を帯びた「死
の灰」を浴びる。帰港後、第五福竜丸は被
ばくの象徴のように扱われた。乗組員と家
族は放射線障害の恐怖とともに、外交優先
の事件処理や原水禁運動に翻弄される▼見
崎さんは、世間の偏見や無理解に傷ついた
乗組員たちをかばい続けた。急性放射能症
で亡くなった久保山愛吉さんの家族に代わ
り、3・1ビキニデーの「墓参行進」で、愛
吉さんの遺影を先頭に掲げる主催者に抗議
したこともあった▼事件後は、アパートや
総菜店の経営などに携わる。だが漁師を「漁
士(りようし)」と書いた遠洋漁業隆盛期
の誇りを忘れることはなかった。人生が急
転したビキニさえなければ、遠洋航海一筋
の人生だったのかもしれない▼2002年
夏、焼津市にある菩提寺の墓を建て替え、
積年の思いを波模様とともに刻んでいる。
「だれにだって 風の日も雨の日もあらし
の日だってあるさ 大切なのは 夢をしっ
かり抱きしめて いのちいっぱい生きたか
波のように何度でも立ち上がったかだ」
▼02年からは、市民や子供たちに自身の経
験について語る活動が続けた。17日、「漁
士は遥かな遠洋に旅立った。90歳だった。」

2016. 3. 19

2016年3月19日 朝刊

①見崎吉男さんは、どんな体験をした人でしょうか。

②見崎吉男さんの積年の思いを込めた言葉を書きましょう。

年 組 名前

(小学校高学年・中学校・高校 道徳・総合)